

ふじのさと わくわくキャンプ(冬編)

開催要項(案)



1. 目的 子どもたちが自分たちで計画した2日間を過ごし、生活リズムの向上に資するとともに、体験活動の楽しさを感じ取り、併せて子供の自主・自立の心を育てる。
2. 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
3. 期日 令和3年1月10日(日)～1月11日(月) 1泊2日
4. 会場 国立中央青少年交流の家
5. 対象 小学校4、5、6年生 3名または4名のグループを作成し申込
6. 募集人数 30名程度
7. 参加費 3,500円 (食費 シーツ等洗濯料 傷害保険料など)
8. 宿泊場所 国立中央青少年交流の家(宿泊棟)
9. 企画運営 交流の家職員、及び 法人ボランティア(大学生等)

10. 日程

	9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	16:00	19:00	20:30	22:00
1/10	受付	開会式	プログラム計画	昼食	プログラム①	夕食づくり	夜のプログラム	入浴	就寝
		6:00	7:00	8:00	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
1/11		起床	朝食	清掃	プログラム②	昼食	共通プログラム	閉会式	解散

11. 申込受付期間 及び 申込方法

【申込期間】

令和2年12月4日(金)午前9:00～12月13日(日)17:00迄

【申込方法】

- ① 3名～4名のグループを作ります。
- ② 申込用紙にグループ全員の情報を記入の上、FAXもしくは郵送にてお送りください。
※FAXの場合は受信確認のため、送信後お電話にてご確認ください。
- ③ 定員を超えた場合は、抽選となりますのでご了承ください。
※抽選の結果は当選者のグループ代表者のみに連絡をいたします。
- ④ この事業は、普段から仲の良いグループで親元を離れ自分たち自身で生活をし、自主自立の心を育てることを目的としているため、参加決定後、体調不良等でグループの参加者が2名となってしまった場合、参加できなくなりますので予めご了承ください。

1 2. 持ち物 参加決定時にお知らせいたします。

1 3. 服装 口動きやすい服装（スカート不可） 口運動できる靴（サンダル不可）
※当施設は標高約 700mの所に位置しており、平地よりも 4～5℃気温が下回ります。
冷え込むことが予想されますので暖かい服装でお越しください。

1 4. その他

- (1) 抽選の結果については多くの方からのご応募が予想されるため、ご参加いただける方のみ 12 月 15 日（火）までに電話で連絡をさせていただきます。
- (2) 持ち物など詳細な内容は、参加決定後（12 月下旬頃）にご案内いたします。
- (3) 個人情報は「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき適切に処理し、本事業に関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。また本事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報等に使用し、ホームページにも掲載することがありますことを御了承ください。
- (4) 交流の家までは、保護者の送迎等による集合・解散をお願いします。
- (5) 教育事業中、参加者が体調不良となった場合は、ご帰宅いただくこともありますので、保護者の方は常時迎えが可能な体制を整えてください。
- (6) 天候や新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、活動内容が変更または中止となる場合もございますので、ご了承ください。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止について（下記枠内参照）

当事業は、「教育事業編：新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（当施設ホームページに掲載）に則って運営いたします。必ずご一読いただき、ご理解いただいた上でお申し込みください。



1 5. 申し込み先、問い合わせ先（ご不明な点については、下記担当までご連絡願います。）

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL：0550-89-2024 FAX：0550-89-2025
E-mail：fujinosato-kss@niye.go.jp 担当：小林、阪井、渡邊

<保護者の皆様へ>

本事業は、子ども達がプログラムを選択し、仲間同士で宿泊体験活動を行うことを通して、「生きる力」を育むことをねらいとしています。子ども達の健やかな成長のため、ぜひ、お子様方に参加をすすめてみてください。

- 交流の家での規則正しい生活体験を通して、「早寝早起き朝ごはん」などの基本的な生活習慣を育みます。
- 仲間、他団体など他者との集団宿泊・共同生活を通して、社会性・コミュニケーション力を育みます。
- 自然体験活動を通して、地域自然環境の理解や、自然と調和することの大切さなどの感性を育みます。
- 活動を自分たちで企画し体験することを通して、自主・自立の心、自己肯定感を育みます。

2015 年の国連サミットで、全会一致で採択された 2030 年までの国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指し、国立中央青少年交流の家は、率先して推進活動に取り組んでいきます。

